

名古屋市立大学病院

病院長名	間瀬 光人
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は800床の病床、31の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜ぶ記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学放射線科専門研修プログラム

23の特色ある施設と、各領域専門の指導医総数70名以上を擁する、日本有数の規模の放射線科専門研修プログラムです。相対的に若手が多く、最新の知見に基づく親身な指導を受けられます。基幹施設や大規模連携施設では各種最新の高性能機器を用いた研修を受けられ、若手が多く結果が固いため地域の連携施設でも充実した研修を受けられます。規模が大きく若手が多いため、研究面でも国際学会発表数や論文数で目覚ましい成果を挙げています。

<研修モデル>

	1年次	2年次	3年次
4月	名古屋市立大学病院放射線科	名古屋市立西部医療センター ・放射線診断科 ・放射線治療科 ・陽子線治療科	名古屋第二赤十字病院放射線科
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照
http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、刈谷豊田総合病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、岡崎市民病院、愛知県がんセンター愛知病院、津島市民病院、春日井市民病院、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、中京病院、名古屋医療センター、豊川市民病院、名古屋共立病院、東名古屋画像診断クリニック、北斗病院、一宮市立市民病院、成田記念病院など全23施設

□ メッセージ

放射線科 部長 樋渡 昭雄

若い力と最新の設備で世界を目指そう

最新の高性能機器を用いての最高レベルの研修を約束します。最新の設備を有し、若い先輩達が大勢いる優れた環境での充実した研修で、バラ色の将来を期待しましょう。研究面では臨床研究・基礎研究をともに行っており、国際学会への出席を奨励しています。全国あらゆる地域の先生方の研修を歓迎します。ぜひ見学に来て下さい。



□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与/月額	228,000円～478,000円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数/月	4回程度(診療科により異なる)
・当直料/回	24,000円～34,000円
・その他	年間有給休暇 20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり
・応募連絡先	担当者 医療人育成課臨床研修係 専攻医募集担当 電話番号 052-853-8545 Eメール s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp